

介護・医療連携推進会議の開催について

事業所名	ワンランド定期巡回須賀川		
所在地	〒962-0001 須賀川市森宿字安積田 211-2		
担当者名・連絡先	加藤和子（出席）	TEL 0248-94-8179	
従業者数	従業者総数 7人（内訳：常勤 4人、非常勤 2人）（6年6月11日現在）		
会議の開催日	令和6年6月11日（令和6年度 第1回）		
会議の出席者	所属（団体等）名	職名	氏名
利用者	—	—	（欠席）
利用者の家族	—	—	（欠席）
地域住民の代表者	森宿地区 町内会	会長	野川 真伸（欠席）
地域の医療関係者	公立岩瀬病院訪問看護ステーション	管理者	鈴木 美咲（欠席）
地域の医療関係者	医療法人三愛会 さんあい訪問看護ステーション	所長	千葉 敦子
地域の医療関係者	リンクフォレスト株式会社 にじいろ訪問看護ステーション		（欠席）
地域包括支援センターの職員	須賀川西部 地域包括 支援センター		
知見を有する者等	森宿地区民生委員	民生委員	水野 民子
居宅支援事業所			
利用者の状況	利用者総数 16人（6年6月11日現在） うち、事業所と同一建物に居住する利用者数 0人 要介護1：3人 要介護2：5人 要介護3：7人 要介護4：1人 要介護5：0人 — — —		
会議の協議内容 出席者紹介 会議の内容 事業の内容 ① サービス提供状況 ② 地域における介護、医療 の課題等	<p>連携会議の意味を法人代表の橋本から説明があり、会議に入った。今までの会議の中で、定期巡回型訪問介護の仕組みや必要性などは、周知してきたので、本日は、違った角度から連携会議にしたいと考えていると述べた。</p> <p>令和6年度の報酬改定で、訪問介護などの報酬が減額となったので、今後今まで以上に定期巡回型が必要とされてくる。ただ、定期巡回型も報酬が下がったことは確かである。</p> <p>続いて、担当者から利用者の事例報告があった。定期巡回や随時対応などの回数なども報告された。その中で、深夜の随時対応が多く見受けられたことが議題となったが、出席者の訪問看護事業所から、利用者状況などいろいろ原因はあるだろうが、主治医と相談することも大事ではないかとの意見もあった。人間は、本来は、夜は眠ることのバイオリズムとなっているので、そんな日常生活になるよう生活を整えていく必要があるのではないかとの意見もあった。</p> <p>地域の出席者からは、介護の必要性は、十分理解できるが、どんな時に、どこに相談すればいいのか？明確な知識がない。出席者からは、体調が悪くなったときは、入院するので病院のソーシャルワーカーや地域包括支援センターが相談先になるだろうとの意見もあった。</p> <p>当該事業所からは、家賃の安い住まいの問い合わせが多いことから、資料</p>		

	<p>の、須賀川市でも2900戸の空き屋がある。どこの地域でも増えているので、市町村でも対策をしているところであると報告された。そんなことから、我々、介護従事者や看護従事者などからも、地域に発信し、空家問題をテーマに取り上げみんなで活用手段考えていくべきだろうと意見があった。</p> <p>また、令和6年度から介護事業所は、事業継続計画等の義務付けが始まった。自然災害の訓練など地域の皆さんと実行していきたい旨の報告があった。この地の森宿でも地域の皆さんと訓練を行う機会を考えていきたいことも報告された。</p> <p>地域の出席者からは、ここは、水害はないので安心だとの意見もあった。事業者からは、秋に地震発生の訓練を行いたい旨の報告も付け加えられた。</p>
苦情の状況	<p>(直近約3か月又は前回報告以降)</p> <p>特になし</p>
事故の状況	<p>(直近約3か月又は前回報告以降)</p> <p>特になし</p>
その他の報告事項 評価、要望・助言等	<p>法人代表から今回は、自己評価、外部評価をすることとしているので、出席者の皆さんにはお手数ですがお願いしたい旨報告となった。</p>